

質問回答と訂正

2023年8月2日

「全世界 2023 年度案件別事後評価パッケージⅡ-3(メキシコ、ホンジュラス、中米広域)(QCBS)」
 (公示日:2023年7月12日/調達管理番号:23a00115)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
0		(JICA より訂正) P.28「第3章 4.見積書作成にかかる留意事項 (2)上限額」の記述を訂正します。 (現行誤記載) 【上限額】 63, 728, 556円	(訂正後) 【上限額】 63, 728, 556円(税抜)
1	p. 11~ 第4条(2) 2)3)4) 第5条(5) 定性調査/定量調査	第4条(2)の内、2)3)4)全てにおいて「本事後評価で各評価項目を確認するにあたっては、事後評価レファレンス(別添7)も参照しながら、そうした取り残されやすい受益者へも公平な裨益が発現されたか、既存資料および実施機関へのヒアリング、定性調査から確認できる範囲で検討すること。」とありますが、その内2)のみ、「詳細は第5条(5)を参照のこと。」の文言と該当箇所の記載がありません。2)の案件に関しては、追加定性調査は不要との理解でよろしいでしょうか？	第4条(2)2)ホンジュラス:コマヤグア市給水システム改善・拡張計画について、取り残されやすい受益者に関する確認方法として例示されている定性調査は、新6基準による事後評価において実施する、事業関係者や受益者へのインタビューを通じた情報収集を想定しています。第4条(2)3)と4)は、上記では十分に確認できない有効性・インパクトについて、第5条(5)に基づき、調査対象者数の規模を大きくして実施する定性調査を通じて、取り残されやすい受益者についても確認することを想定しています。

2	p. 14(中米広域) 第4条(2)4)脚注13	脚注13に、「Pacaya火山地域とSantiaguito火山地域の調査期間は、移動も含め、それぞれ2泊3日程度となるよう」とありますが、各地域には複数のサイトの市がありますが、「各地域の調査期間全体が2泊3日程度」、ということで間違いありませんでしょうか？	各地域 2泊3日程度の現地調査になる範囲の提案とし、現地調査ができなかった市に対しては、コミュニティの状況も含め、遠隔での情報収集を想定しています。
3	p.15 (中米広域) 第4条(3)脚注16	現地調査補助員が他の中米国で業務をした場合の旅費も支払われるのでしょうか？	現地調査補助員はグアテマラとニカラグアでの業務を想定していますが、グアテマラやニカラグアの現地調査補助員を、遠隔調査対象の国に派遣してヒアリング等の実施を提案して頂くことは妨げません。その際のお手続きは受注者にて行い、諸費用は価格プロポーザルに含めるようにしてください。
4	p.17	17 ページ 20 行目「なお、インタビューは、男女ほぼ半数で行う」とありますが、これは調査員の男女比を指すのでしょうか、あるいは、調査対象者の男女比を指すのでしょうか。	調査対象者の男女比を指します。
5	p.13、p.17	13 ページ 11 行目「既存資料および実施機関へのヒアリング、 <u>定性調査</u> から確認できる範囲で検討する」とありますが、17 ページ「(5) 定性調査／定量調査」では当該案件の定性調査は指示されていません。この 13 ページの「定性調査」は何を指すのでしょうか。	質問回答 1 をご参照ください。
6	p. 18 第5条 調査の内容 (7) 暫定評価に係る実施機関との協議	「(8)の暫定的な評価につき」とありますが、「(6)」の間違いとの理解でよろしいでしょうか？	18 ページの「(7) 暫定評価に係る実施機関との協議(第2次現地調査)」について、以下のとおり訂正します。 【現行誤記載】

			(8)の暫定的な評価につき、 【訂正後】 (6)の暫定的な評価につき、
7	p. 18 第5条 調査の内容 (11) 評価報告書(案)の作成	評価報告書案(英文・西文)を作成し、発注者が承諾後「英文について発注者が相手国調査対象機関等からのコメントを取り付け」、そのコメントも踏まえ評価報告案(和文・英文)を最終化するとありますが、西文の最終化は不要という事でしょうか？	西文の最終化は不要です。
以上、7/25 回答			

以上